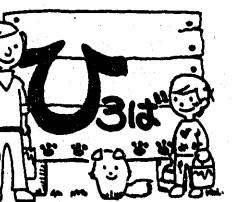


香雲・子鳳・五郎



香雲、子鳳、五郎の合同演作展が、若葉会（佐藤与資太郎）の人たちによつて、十
月一日より三日間、コスモス館にて開催される。

戦時中には、
院を尋ね、両腕
のように絵が書
き込まれし、当時

初の手ほどきを受けたのは、
水沢五郎さんだったそうです
なお、この道作展には、やがて
くると傷病兵
が無くともこ
の後軍大臣か
葉会員の賛助出展もあり、



五郎さん

稻荷浦、大正元年一二月生
昭和五十四年八月没)は、
供のころ事故で両腕を失つ

によって、昭
三十年ころに
ほとんど絵筆



絶ちました。

『これは傑作』老人作品展

農業市老
人作品展が、十一月十五日から五日まで、青年研修所で開催されました。老人作品展は、毎年各地区交替で開催するもので、今年は四回めです。出展者は百人ほどで、昨年下回りました。川三郎が、作品は、藤博(上)書画の秀作賞を受賞しました。

のにじみ
ばかりで
は田中ミ
は吉田ミ
船山三(一)
さん(木
いずれも
でした。
品展の人
のとおり

佳作賞 一) 香炉 島兒) 菜 ○手芸の部 秀作賞



第四回めの老人作品展が開かれた青年研修所。傑作が多く、市民を楽しませま

大久保先生の遺墨展

10

十二月九日、東京の九段会館で、るつもりで参加したの演奏してくれたので、か入賞できました。胸

長岡市の大阿賀賀では、十
月二十三日から二十五日ま
で、「大久保正太郎先生遺墨
展」が開かれました。これは
教育年にわたって、岡方地区の
教育に尽力された大久保先生
の徳をしのぶ人々が集つて
聞いたものです。
大久保先生は、南蒲原郡中
之島村出身で、明治十七年に
平林校（後の岡方校）に着任
したが、この結果

三十五回間にわたつて、東京の小学館に連載された「東京の小学校」に、先生の言葉が載っています。その中で、先生は「和歌と書道の道にも、大きな影響を与えた」と述べています。また、先生は「和歌と書道の道にも、大きな影響を与えた」と述べています。また、先生は「和歌と書道の道にも、大きな影響を与えた」と述べています。



中央の講師等から、2日間にわたり、びづ
山脈と山岳研究会は

「麥加村は、十
一、いざれも、そ
学校で、レベル
ました。でも、
んが落着いて、
た
これは、国際ロード
ラブ七十五周年記念
栄ロータリークラブ
念事業として行った

から指導
約六十人
中央会総合
氏の「八
演説など、
題と農業
一月を予
た。

研修会で度優秀農家として大野收取一さん（長戸呂、三〇歳）と佐野洋さん（高森新田四六歳）に表彰状と記念品が贈られました。